

試行・検証等のテーマ

人的、物的な面を含めた持続可能な体制の在り方 地域拠点で活躍するコーディネータの役割の明確化と人材の確保策

背景 ・ 課題

- 全国的に少子化や核家族化、デジタル化が進み、加えてコロナ禍の影響を受けて、子どもたちのリアルな体験が不足している。
- 本県においても、コロナ禍で地域と連携した活動や自然の家等における体験活動に減少が見られ、児童生徒の体験機会の減少が課題となっている。

事業の ねらい

- 学校や地域、企業、教育機関等と連携したリアルな体験活動を通じて、多様な他者との協働的な学びを提供する山口県の地域連携教育のモデル事業を構築し、県内普及を図ることにより、子どもたちの「社会を生き抜く力」として必要な非認知能力の向上をめざす。

事業内容

<実施体制>



企画	具現化	事業実施
<ul style="list-style-type: none"> ・県 ・株式会社3in ・山口県立大学 ・周防大島高校 	<ul style="list-style-type: none"> ・県 ・3in 	<ul style="list-style-type: none"> ・県・3in・有志スタッフ・NPO団体 【協力】・周防大島高校・寺院・農家 ・地主・町・町教委・道の駅・資料館 ・公民館・観光協会・ボランティア等

<テーマに基づいた試行、検証等の方法>

- 大学・高校を巻き込んだ事業企画→地域の多様な人材を巻き込んだ事業協力体制構築
- 事業実施→参加者・保護者及びスタッフ等関係者へのアンケートによる検証

<活動内容>

チャレンジ&エコツアー	7/30~8/5 (6泊7日)	山口県 大島郡	小学5年生 ~中学生 (32人)	バックパッキング（登山）、野外調理、テント泊、ソロ、シュノーケリング、シーカヤック、海浜清掃等
魅力発見エコツアー	12/23~ 12/25 (2泊3日)	周防大 島町	小学4年生 ~中学生 (22人)	みかん収穫体験、ジュース・ジャム作り、フラダンス体験、レイ作り、漂流物収集、クリスマスリース作り、みかん鍋調理

チャレンジ&エコツアー



魅力発見エコツアー



成果

<成果・課題>

- プログラムの特性に応じた専門的な指導者及び多様な地元企業、行政、学校、個人等の協力者をつなぎ、事業実施に必要なネットワークを構築することができた。
- 事業の企画・運営を民間に委託すると委託費が必要となるため、経費の確保策または受益者負担の範囲で事業を実施できる主体の確保等、持続可能な事業の実施体制構築についての検討が引き続き必要である。
- <参加者・保護者の意見>
- 自分から料理を手伝うようになったり、他にも自分から進んでいろんなことをしたりするようになった。
- 友達と積極的に話せるようになったから、学校でも生かしたい。

今後の 展開

- 県が主体となり、県東部（周防大島町）で今後2年間、海のプログラム（しまキャン）と魅力発見エコツアーを実施する。その間、連携・協働する地元行政や企業、団体等と自走できるプログラムの在り方と実施体制について検討する。
- 県北部では、県と山口県青少年自然体験活動研究会が中心となり、山をフィールドとした長期自然体験活動を実施する。県西部では、新たな企業連携による体験活動を構築・実施する。
- 県内の体験活動情報を集約し、興味のある県民とマッチングする仕組みを構築することで、子どもたちのニーズや意欲、抱える背景に応じて参加できるような体験活動環境を整備する。